

令和 8 年 4 月入学

長崎大学大学院総合生産科学研究科
博士前期課程 総合生産科学専攻

学生募集要項

外国人留学生入試（秋期募集）

【水環境科学コース】

令和 7 年 4 月

長崎大学大学院総合生産科学研究科

〒852-8521 長崎市文教町 1 番 14 号

TEL (095) 819-2491 (直通)

1. 募集人員

専 攻	コース	募集人員
総合生産科学専攻	水環境科学コース	5 人

2. 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの（「3. 出願資格審査」参照）

3. 出願資格審査

- (1) 出願資格(5)で出願する者については、事前に出願資格を審査する必要があるため、以下の書類を令和 7 年 8 月 19 日（火）までに、長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。

提出書類	備考
卒業（見込）証明書 /学位授与証明書	出身（所属）学校が作成したもの（卒業証書の写しは不可）
成績証明書/成績評価基準表	出身（所属）学校が作成したもの。成績評価基準表の記載が無い場合、別途、成績評価基準が掲載された書類も、必ず提出すること。
出願資格審査申請書	本研究科所定の様式
入学願書	本研究科所定の様式
研究歴証明書	本研究科所定の様式に、機関の長が証明したもの
研究内容要旨	本研究科所定の様式
その他	日本語又は英語以外の言語で記載されている書類には、日本語又は英語の翻訳文を添付すること。

※本研究科所定の様式は、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。
「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」
（アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou>）

- (2) 出願資格の審査結果については、出願期間開始前までに本人宛に発送する。なお、出願資格有と認定された者は、「4. 出願期間」及び「5. 出願手続」により手続を行うこと。

4. 出願期間

令和7年9月22日（月）から令和7年9月29日（月）17:00（日本時間）まで

- (1) 申請書類の原本（紙ベース）は、期限までに到着するように提出のこと。

但し、出願書類の電子データを期限までに送信している場合は、原本の到着が不測の事態で遅れたとしても、出願は有効と見做す。書類確認のための事前のメール送信は、出願期間前でも受け付ける。但し、入学試験の受験資格を得るためには、電子データのみ提出では不十分であり、紙ベースの原本を必ず提出のこと。

【メールアドレス】 seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

【郵送先】

長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

- (2) 出願書類等を持参する場合は、9:00 から 17:00 まで受け付ける。

5. 出願手続

志願者は、以下の手続書類等を、所定の期日までに提出すること。

出願に当たって、指導を希望する教員に事前に連絡を取り、受験や入学後の研究内容について十分相談し、内諾を得ておくこと。

出願書類等	備考
入学願書 (本研究科所定の様式)	出願資格審査時に提出した者は不要
写真票・受験票・ 検定料納付証明書貼付票 (本研究科所定の様式)	
卒業(修了)証明書/学位授与証明書 または卒業(修了)見込証明書	出身(所属)学校が作成したもの。卒業証書の写しは不可。 なお、出願資格(4)に該当する者で、当該証明書に学士の学位に相当する学位を授与されたことが記載されていない場合は、別途、学位授与証明書を提出すること。(出願資格審査時に提出した場合は不要)
成績証明書/成績評価基準表 (最終学歴のもの)	出身(所属)学校が作成したもの。成績評価基準表の記載が無い場合、別途、成績評価基準が掲載された書類も、必ず提出すること。(出願資格審査時に提出した者は不要)
住所登録(合格通知等送付用)	「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」のフォームから、入力すること。(書類の提出は不要) 入力受付期間: 令和7年9月12日(金)から令和7年9月29日(月)17時まで
検定料(30,000円)	《振込期間》 令和7年9月12日(金)から令和7年9月29日(月)まで 《振込方法》 E-支払いサイト (https://e-shiharai.net/) (英語版 https://e-shiharai.net/ecard/) にアクセスのうえ、①コンビニエンスストア ②ペイジー(金融機関ATM決済) ③ペイジー(ネットバンク決済)・ネットバンキング ④クレジットカードのいずれかで支払うこと。(振込時に別途必要な振込手数料は振込者の負担となる。振込手数料は支払方法で違うので申込画面で確認のこと) ※ E-支払いサービス(英語版)では、④クレジットカード払いのみ選択できる。 《支払い別の貼付書類について》 E-支払サービスで選択した支払方法毎に、次の書類を検定料納付証明書貼付票に貼付すること。

	①コンビニエンスストア支払の場合 支払い後、コンビニエンスストアで受領した「取扱明細書（取扱明細書兼受領書）」の点線枠の「収納証明書」部分を切り取り貼付して提出 ②ペイジー（金融機関ATM決済）支払の場合 支払後、出力される「ご利用明細票」を貼付して提出 ③ペイジー（ネットバンク決済）・ネットバンキング、 ④クレジットカードの場合 支払後、E-支払いサイトにアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、「照会結果」を印刷し所定の様式に貼付して提出 ※ E-支払いサービスにおける手順等に関する質問は、同サービス「利用ガイド」や「よくある質問」を確認し、不明な点があればE-サービスサポートセンターへ問い合わせること。 ※ 上記いずれの方法も利用できない場合は、財務部財務企画課資金管理班（電話：095-819-2060/email: sikin@ml.nagasaki-u.ac.jp）まで問い合わせること。 （注意）E-支払いサービスでは、支払い後のキャンセルはできない。クレジットカードで支払った場合は、申し込み完了と同時に支払いが完了する。 《 出願に際しての留意事項 》 検定料が振り込まれていない場合、支払いを証明する収納証明書やご利用明細票等が貼付または添えられていない場合は出願を受理しない。 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。 なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。 ※ 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。
外国語検定試験成績証明書等	試験日から過去3年以内に受験したものに限る。（英語で利用する外国語検定試験は以下の【別表】参照） 成績証明書は、受験票を送付する際に同封して返却する。 ただし、出願時に成績証明書の提出が間に合わない場合または出願時に提出した成績証明書の他に新たに受験したテストの成績証明書が提出できる場合には、事前に大学院係へ申し出ること。
その他	日本語または英語以外の言語で記載されている書類には、日本語または英語の翻訳文を添付すること。すでに出願資格審査で提出した書類の再提出は不要。

注）改姓等がある場合は証明する書類を併せて提出すること。

【別表】

外国語検定試験の種類	備考
次のいずれかの外国語検定試験で、試験日から過去3年以内に受験したものに限る。	出願時に次のいずれかの成績証明書等（原本（後日返却））もしくはデジタル公式認定証を印刷したものを提出のこと。
①TOEFL iBT	①TOEFL iBT Test Taker Score Report
②TOEIC L&R 公開テスト	②TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
③IELTS	③IELTS Test Report Form

（注）外国語検定試験は公式スコア（TOEFL iBT[Home Edition を含む]）は Test Date スコアに限る。）

を対象とし、TOEFL ITP および TOEIC IP は対象としない。

※本研究科所定の様式は、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。

「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」

(アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou>)

6. 出願に関する注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は原則認めない。
- (2) 受理した出願書類は、返還しない。
- (3) 入学試験についての問い合わせは、メールもしくは郵便により行うこと。郵便で照会する場合は、返信先を明記し、所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。なお、電話による問い合わせには応じない。(メールアドレス: seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp)

7. 選抜方法

学力検査等(小論文・口述試験、面接及び英語)の成績により入学者を選抜する。

英語は、筆記試験を実施しない(試験日から過去3年以内に受験した【別表】(前ページ参照)に掲げる外国語検定試験のいずれかの成績を換算して利用する。)

- (1) 試験日時〔次の期間のうち本研究科が指定する日時〕
令和7年11月5日(水)～令和7年11月11日(火)

- (2) 学力検査等の配点

小論文・口述試験	面接	英語	配点合計
60	20	20	100

- (3) 合否判定基準

学力検査等の総得点の高い順に合格者を決定する。ただし、面接試験の結果が著しく低い場合には、学力検査の成績等の結果に関わらず不合格とする場合がある。

なお、小論文・口述試験及び面接は、次の方法で評価する。

【小論文・口述試験の評価方法】

英語による小論文(a)と口述試験(b)を行い、基礎学力、水環境分野の基礎知識及び英語能力について総合的に評価する。

科目	出題範囲及び評価内容
(a) 小論文	小論文は英語による自由記述形式とする(A4 用紙, 2 ページ以内)。受験生が希望する研究課題に関係した内容, あるいは水環境で関心がある分野についてのテーマで自由に記述してよいが, 正しい専門用語を用いた論理的な文章力から, 基礎学力と水環境分野の基礎知識及び英語能力について評価をする。
(b) 口述試験	小論文で記載した内容に基づき英語で質疑を行い, 基礎学力, 水環境分野の基礎知識が正しく身に付いているか否かを評価する。

【面接の評価方法】

複数の試験担当者による個人面接形式で行い, 出願書類を参考にして, 志望動機, 勉学意欲, 修学状況及び社会性を総合的に評価する。

- (4) インターネットを利用した入試

インターネットを利用する場合は、予め、指導予定教員へ連絡し、十分に打合せを行うこと。

8. 受験上の注意事項

- (1) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (2) 試験時刻 20 分前までに所定の試験室（集合場所）に入室すること。
（試験開始後の遅刻者は受験を認めない。）
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は、試験日を延期することがある。
- (5) 原則として追試験は実施しない。また、不測の事態が生じた場合、再試験を実施することがある。

9. 合格者発表

令和 7 年 12 月 18 日（木） 10:00（日本時間）

※ 長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページに合格者を掲載する。

「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「合格発表」

（アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/goukaku>）

※ 合格者に対しては、合格通知書の PDF ファイルをメールで通知し、合格通知書の原本は、後日送付する。

※ 電話による可否の問い合わせには一切応じない。

10. 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した試験の全ての科目の成績を無効とします。

ア 入学願書、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓（持ち込みが許可されている場合を除く。）、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとみなす。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。）

ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓（持ち込みが許可されている場合を除く。）、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

11. 入学手続等

合格した者は、次により入学手続を行うこと。入学手続書類は、合格通知書に同封する。

(1) 手続期間

令和 8 年 2 月 26 日（木）～令和 8 年 3 月 5 日（木）（土日祝祭日を除く）

〔受付時間 9:00～17:00〕

(2) 納付金の納入

・ 入学料 ・ ・ ・ ・ ・ 282,000 円

（注）既納の入学料は返還しない。

〔参考〕

令和 7 年度授業料（年額）：535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）

- ① 授業料の納入時期は、前期分 4 月，後期分 10 月になる。
- ② 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ③ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は、入学手続関係書類に同封する。）
- ④ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

12. 追加募集

外国人留学生入試（水環境科学コース）において、合格者が募集人員に満たない場合は、追加募集を行うことがある。追加募集実施の有無については長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ問い合わせること。

13. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、入学料免除及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

14. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和7年8月22日(金)までに、下記の内容を記載した申請書(様式は任意)に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ相談すること。なお、入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。

また、事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- (1) 入試の区分、志望コース
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上の配慮を希望する事項
- (4) 修学上の配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた配慮
- (6) 日常生活の状態
- (7) 志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号(FAX 番号)

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

15. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細についてはコースに問い合わせること。

総合生産科学研究科博士前期課程 教員一覧

コース	担当教員	研究題目・研究テーマ等
水環境科学コース	板山 朋聡	生態工学技術とアクアインフォマティクスの発展途上国への応用
	蔣 宇静	地下亀裂性岩盤内の水理物質移行機構の解明
	中川 啓	地下環境中における環境負荷物質の動態解析 地下水・土壌汚染の修復に関する研究
	村上 裕人	水処理のための機能性高分子膜の開発
	鎌田 海	水処理のための低次元セラミックス
	鈴木 誠二	生態系を含めた水域の物質循環特性の解明および水環境管理保全手法の開発
	瀬戸 心太	水文シミュレーションに基づく水資源評価
	Dao Thi Ngoc Anh	水処理のためのナノテクノロジーを応用における生体高分子の研究開発
	藤岡 貴浩	分離膜を用いた水処理技術
	吉川 沙耶花	気候変動や土地利用変化による水文・環境への影響評価
	濱崎 宏則	【水資源・水環境の政策およびガバナンスの分析】 水管理に関する政策，多様なステークホルダーによる意思決定・合意形成やプラットフォームのあり方，水管理における住民参加，持続可能な水利用のためのガバナンスの探求
	CHANG Ying SHI	持続可能な水再生と資源回収のための膜分離

令和 8 年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻
入 学 願 書 〔 一般入試・外国人留学生入試（水環境科学コース） 〕

		受験番号	※
長 崎 大 学 長 殿 貴大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻に入学したいので、 所定の書類及び検定料を添え出願します。 年 月 日 ふりがな 氏 名 年 月 日生 男 ・ 女			
志 望 コ ー ス	水環境科学コース		
指導を希望する教員			
出 願 資 格 (該当番号を○で囲むこと)	(1) ・ (2) ・ (3) ・ (4) ・ (5) ・ (6) ・ (7) ・ (8) ・ (9) ・ (10) ・ (11)		
現 住 所	〒 TEL () -		
出身大学・学部	年 月 大学 学部 卒業・卒業見込 高専 専攻科		

- 記入上の注意
- ※欄は記入しないこと。
 - 氏名は、戸籍又は在留カードのとおり記入すること。

履 歴 事 項						
学 歴	学 校 名	入学・卒業年月			休学の有無	資 格 (学 士)
					休学期間	
		入学 卒業	年 年	月 月	有 ・ 無	
					年 ヶ月	
		入学 卒業	年 年	月 月	有 ・ 無	
					年 ヶ月	
		入学 卒業	年 年	月 月	有 ・ 無	
					年 ヶ月	
		入学 卒業	年 年	月 月	有 ・ 無	
					年 ヶ月	
		入学	年 年	月 月	有 ・ 無	
					年 ヶ月	
	入学	年 年	月 月	有 ・ 無		
				年 ヶ月		
職 歴	勤 務 先 (職名)	勤 務 期 間				
		年	年 月 ～ 年 月			
		年	年 月 ～ 年 月			
		年	年 月 ～ 年 月			
賞 罰	事 項			年 月		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 氏 名 (自署) _____						

記入上の注意

1. 学歴は高等学校から記入すること。ただし、外国人留学生は小学校入学から記入すること。
2. 卒業見込みの者については、「卒業」の後に「見込」と記入すること。
3. 履歴事項欄の職歴、賞罰のないものは、「なし」と記入すること。
4. 入学後、履歴中に虚偽の記載事項が発見された場合には、入学を取り消すことがある。

令和8年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻入学試験
写 真 票 （一般入試・外国人留学生入試〔水環境科学コース〕）

受 験 番 号	※
氏 名	
志 望 コ ー ス	水環境科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm) 上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること
--

----- 切りはなさないこと -----

令8年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻入学試験
受 験 票 （一般入試・外国人留学生入試〔水環境科学コース〕）

受 験 番 号	※
氏 名	
志 望 コ ー ス	水環境科学コース

写 真 (縦4cm×横3cm) 上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること
--

----- 切りはなさないこと -----

令和8年度 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻入学試験
検定料納付証明書貼付票 （一般入試・外国人留学生入試〔水環境科学コース〕）

住 所	
氏 名	
志 望 コ ー ス	水環境科学コース
検定料納付証明書貼付欄	

----- 切りはなさないこと -----

受験上の注意事項

- (1) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (2) 試験時刻 20 分前までに所定の試験室（集合場所）に入室すること。
（試験開始後の遅刻者は受験を認めない。）
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (4) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は、試験日を延期することがある。
- (5) 原則として追試験は実施しない。

----- 切りはなさないこと -----

受 験 番 号
※

出 願 資 格 審 査 申 請 書

年 月 日

長崎大学長 殿

ふりがな

志願者氏名

今般，貴大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻水環境科学コースに入学を志願するにあたり，出願資格審査を受けたく所定の書類を添えて申請します。

研 究 歴 証 明 書

氏 名 _____

生年月日 _____

上記の者は、下記のとおり研究歴を有することを証明する。

記

在籍した機関，部局名及び身分	
研 究 期 間	年 月 日から 年 月 日まで（ 年 ヶ月）
研 究 題 目 及 び 研 究 内 容 等	別紙のとおり

年 月 日

機関名

職名・氏名

※ この証明書には，最終学校修了後の研究歴について記入すること。

※ この証明書は，在籍した機関の長が証明すること。

研 究 内 容 要 旨

氏 名 _____

研究題目 _____

一般入試「2. 出願資格(11)」出願者（出願資格審査用）

受 験 番 号
※

推 薦 書

西暦 年 月 日

長崎大学長 殿

(所属・職名)
推薦者
氏 名 印

志願者名		志 望 専 攻	総合生産科学専攻
		志望コース	水環境科学コース
推薦理由（志願者の学力，適応性，大学院受験が適当であると判断される理由等）			

注：この推薦書は，志願者の所属する大学の長，学部長，学科長，コース長又はこれに準ずる教員が記入のうえ，厳封すること。